

## マイクロプラスチック調査実施結果

【本島泊海岸調査】日時：2022年1月15日（土）8:30～15:00 参加者数：14名

1月15日（土曜日）14名の県民が参加して丸亀市本島泊海岸でマイクロプラスチックの調査を行いました。この事業では、全3回の調査を行っており、坂出市沙弥島海岸、東かがわ市山田海岸、丸亀市本島泊海岸で行います。

昨今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックに目を向けて、どのような種類のマイクロプラスチックがどのくらいの量、海岸に漂着をしているのかを調べました。

調査は、海岸を歩いてまわり、漂着ごみやマイクロプラスチックの状況を確認した後、マイクロプラスチックの多い場所でサンプルの採取を行いました。大潮満潮時の海岸線あたりに漂着物が溜まっていたので、その周辺からサンプルを採取しました。採取は、定量の砂を取り、水を張ったバケツの中に入れて浮いてきたものを網ですくい取りました。

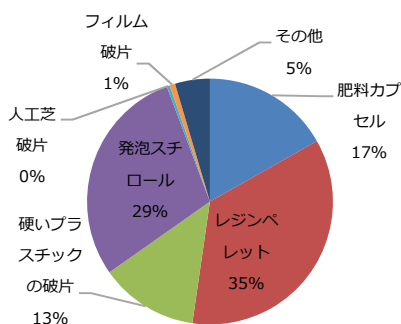
このサンプルを調べるためには、乾燥させるのに時間を必要とするため、事前に乾燥させたサンプルを使って参加者と一緒にマイクロプラスチックの分類と個数を調べました。

調査の後には、マイクロプラスチックについて詳しい話やマイクロプラスチックが引き起こす問題について講師から話がありました。

参加者からは「マイクロプラスチックになる前のもっと大きいうちに拾って、海をきれいにしたい」「学んだことはあったが、目で見ることや由来を知ることが新鮮だった」などの感想がありました。



調査場所



本島泊海岸のマイクロプラスチック割合

本島泊海岸のマイクロプラスチック 2mm～5mm 以下のプラスチック(採取日：2022.1.15 個数確認日：2022.1.16)

項目	肥料カプセル	レジンベレット	硬いプラスチックの破片	発泡スチロールの破片	人工芝破片	フィルム破片	その他
個数	44個	93個	34個	76個	1個	2個	12個



調査場所でマイクロプラスチック探し



サンプル採取の様子



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの問題について



集合写真